

一般質問

6月
定例会

所信表明

町長の政治姿勢と選挙公約は

対話と連携で

誠心誠意の対応／町長



議員 山本 久夫

ば時間が必要なものもあると思うが、今後の取組みについて、具体的な計画があれば聞きたい。

答 大西町長

問

今回の選挙に掲げた町長の選挙公約と政治姿勢を聞きたい。選挙公約については大きく分けると大方改良の促進、一次産業の振興、地域整備の特に生活道の整備と生活環境の整備そして福祉の充実を掲げている。政治姿勢については、地域に足を運び町民の声を聴き町政に反映させる町政運営をしたいとの考えに、多くの町民が賛同した選挙結果であったと考える。選挙公約や町民に対する思いなど初心を忘れることなく努力する事が大切である。公約については、任期中に実現できるものもあれ

今回の選挙選については、具体的な政策にはほとんど踏み込んだものがなく、地域を回りながら町民の意見を聴く中で、私なりの現状認識と今後の町行政を取巻く環境を予想し、これからは町民と行政の距離を今まで以上に近いものにしなければならぬと強く訴えてきた。そのためにも地域に足を運び、地域の皆さんの声に真摯に耳を傾け町政に反映すると共に、関係機関との連携を強化していく事を約束する。

公約の中の大方改良については、地権者の皆さんにご理解をいただけるよう精一杯努力をし、地域住民の安全確保とまちづくりの核となる事業であるとの認識に立ち全力で

取組む。地域や生活環境の整備については議会終了後、町内の生活道の現地視察にまちづくり課長と入る予定である。

一次産業の振興については、農業では基幹となる施設園芸について新規就農者への支援の充実、環境保全型農業の推進、情報収集に努め有望品目の導入にも積極的に取組む。

漁業については、沿岸漁業の整備について県に強く要望していく。中でも入野海岸のハマグリについては現在、環境調査と個体調査について県に許可申請をしている。結果を踏まえ対応したい。

福祉については、様々な分野があるが高齢者福祉の独居老人の見守りの充実を図るため議会終了後、直ちに包括支援センターとの協議を実施する。

行政を取巻く環境を考え高齢化社会への対応、生活様式や住民ニーズの多様化、また各種産業への経済対策などスピード感を持って対応したい。

産業振興

産業推進室の
取り組みとは

地域産業推進の
中心的役割を担う

町長

問

新設された産業推進室の役割について聞きたい。

産業推進を目的に新設した課であるので、幅広い業務内容になると考える。従来からの事業、施設整備、また各種イベント、特産品開発関係事業等があり推進室の果す役割は大変重要なものになると考えるが、初代室長として推進室の今後の計画等についてどのように計画し推進していくのか聞きたい。

答

大西町長

森下産業推進室長

現在のところ前年度までの既存事業の業務執行のため、計画的な物づくりの取組みが出来ていない。今後、企画書の作成や黒潮町総合振興計画に掲げた黒潮印の商品開発などを進めると共に、既存製品の販路開拓、販売促進に取組む。実績を上げられる人材の育成ということ、生産（一次産業）、加工（二次産業）、販売（三次産業）の人材を育成し販売につなげたい。